

損益状況<連結>

(単位：億円)

	26年9月期		25年9月期
		前中間期比	
経常収益	964	+ 11	952
連結粗利益	776	+ 15	760
資金利益	602	△ 11	614
役員取引等利益	119	+ 7	112
特定取引利益	2	△ 0	2
その他業務利益	52	+ 20	31
営業経費	538	+ 4	534
不良債権処理額	33	+ 29	4
経常利益	218	△ 16	235
中間純利益	138	+ 15	123
自己資本比率*	11.38%		12.04%

※26年9月期はパーゼルⅢ、25年9月期はパーゼルⅡベースで算出しています。

26年9月期の連結業績につきましては、経常収益は前中間期比11億円増加の964億円となりました。

利回り低下による貸出金利息の減少を主に資金利益は減少しましたが、保険販売手数料や投資信託販売手数料の増加により役員取引等利益が増加したことや、国債等債券損益の増加によるその他業務利益の増加により、連結粗利益は前中間期比15億円増加の776億円となりました。

不良債権処理額が増加したことにより、経常利益は前中間期比16億円減少の218億円となりました。

中間純利益は、法人税等の減少などにより、前中間期比15億円増加の138億円となりました。

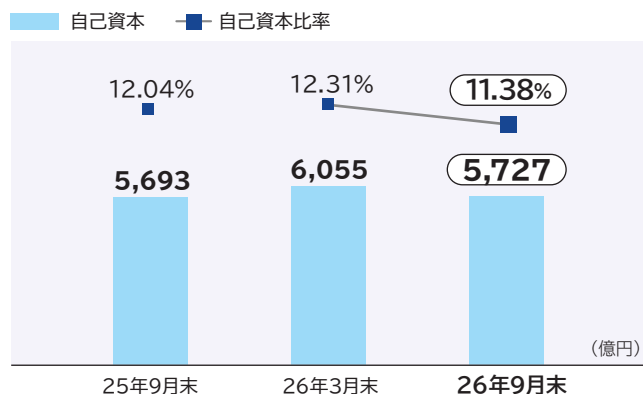
自己資本比率は、11.38%となりました。

普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえて中間配当を見送りとさせていただき、期末一括配当1株当たり4円を予定しております。なお、優先株式は所定の中間配当とさせていただきます。

自己資本比率<連結>

財務の健全性を示す自己資本比率は、利益を積み上げた一方で、劣後ローンの返済により26年3月末比0.93ポイント低下の11.38%となりました。

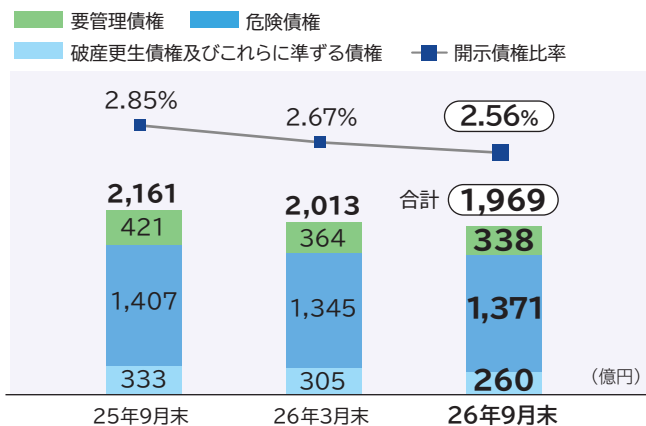
※26年3月末以降はパーゼルⅢベース、25年9月末はパーゼルⅡベースで算出しています。



金融再生法開示債権<2行合算>

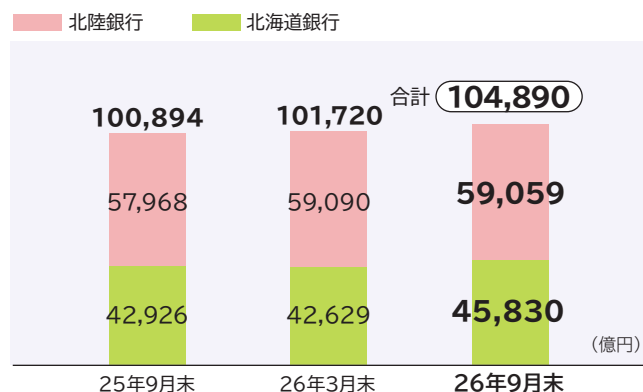
金融再生法開示債権は、26年3月末比44億円減少の1,969億円となりました。

開示債権比率は、26年3月末比0.11ポイント低下の2.56%となりました。



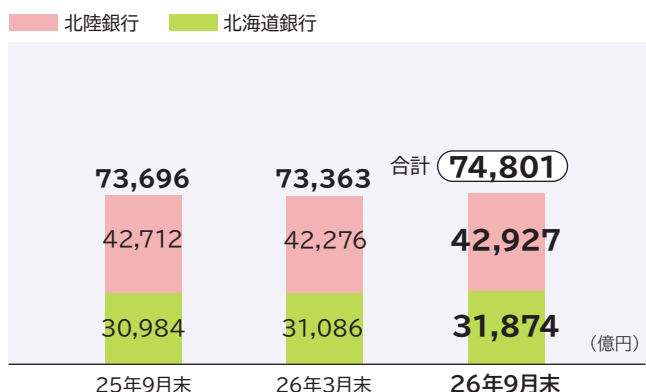
預金(含む譲渡性預金)<2行合算>

預金は、法人預金・個人預金ともに堅調に増加したことにより、26年3月末比3,170億円増加の10兆4,890億円となりました。



貸出金<2行合算>

貸出金は、事業性貸出および地方公共団体向け貸出を中心に増加し、26年3月末比1,437億円増加の7兆4,801億円となりました。



## 損益状況

(単位：億円)

	26年9月期		25年9月期
		前中間期比	
経常収益	480	△ 4	485
コア業務粗利益	381	△ 8	389
資金利益	319	△ 17	336
役員取引等利益	51	+ 6	45
特定取引利益	1	△ 0	1
その他業務利益	9	+ 3	6
経費	259	+ 0	258
コア業務純益	122	△ 8	130
業務純益 <sup>※1</sup>	149	+ 10	139
与信費用	8	+ 17	△ 9
経常利益	125	△ 13	139
中間純利益	78	+ 5	72
自己資本比率 <sup>※2</sup>	10.98%		11.95%

※1 一般貸倒引当金繰入前

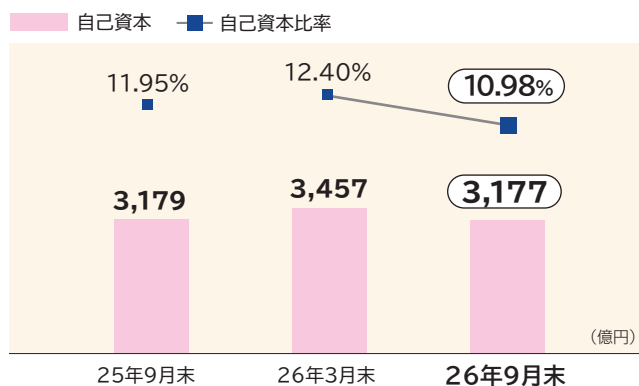
※2 26年9月期はバーゼルⅢ、25年9月期はバーゼルⅡベースで算出しています。

連結経常収益	482	△ 4	486
連結経常利益	125	△ 13	139
連結中間純利益	78	+ 5	72

## 自己資本比率

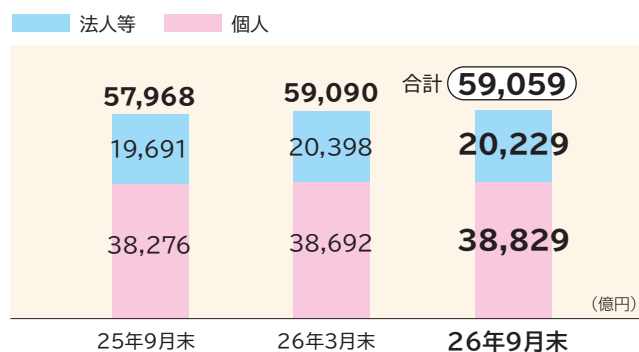
自己資本比率は、劣後ローンの返済を主因に26年3月末比1.42ポイント低下の10.98%となりました。

※26年3月末以降はバーゼルⅢベース、25年9月末はバーゼルⅡベースで算出しています。



## 預金 (含む譲渡性預金)

預金は、公金預金等が減少し、26年3月末比31億円減少の5兆9,059億円となりました。



コア業務純益は、資金利益の減少を役員取引等利益の増加等で一部カバーし、前中間期比8億円減少の122億円となりました。

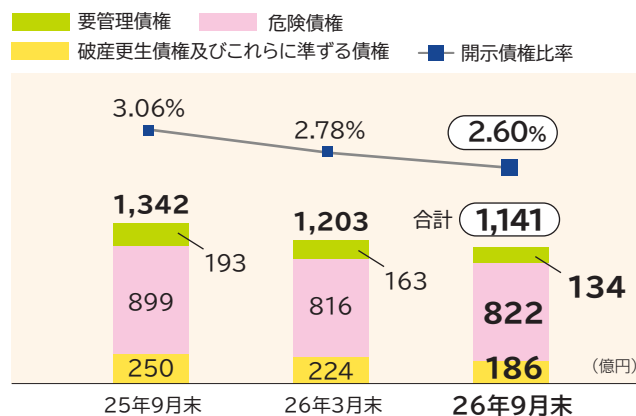
経常利益は、国債等債券損益が増加しましたが、与信費用の増加等により前中間期比13億円減少の125億円となりました。

中間純利益は、減損損失や法人税等の減少により前中間期比5億円増加の78億円となりました。

連結経常収益は前中間期比4億円減少の482億円、連結経常利益は前中間期比13億円減少の125億円、連結中間純利益は前中間期比5億円増加の78億円となりました。

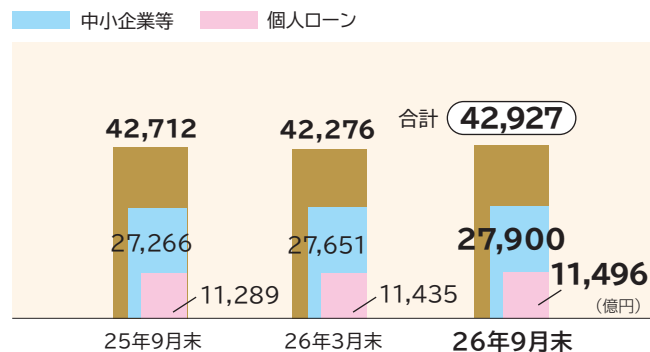
## 金融再生法開示債権

金融再生法開示債権は、26年3月末比61億円減少の1,141億円となりました。開示債権比率は、26年3月末比0.18ポイント低下の2.60%となりました。



## 貸出金

貸出金は、中小企業向け貸出や個人ローン、地方公共団体等向け貸出が増加し、26年3月末比650億円増加の4兆2,927億円となりました。



## 損益状況

(単位：億円)

	26年9月期		25年9月期
		前中間期比	
経常収益	416	+ 13	402
コア業務粗利益	339	+ 13	326
資金利益	291	+ 12	278
役員取引等利益	43	+ 1	42
その他業務利益	3	△ 1	4
経費	217	△ 2	219
コア業務純益	121	+ 15	106
業務純益※1	122	+ 15	106
与信費用	21	+ 12	9
経常利益	98	+ 3	94
中間純利益	70	+ 16	54
自己資本比率※2	10.79%		11.08%

※1 一般貸倒引当金繰入前

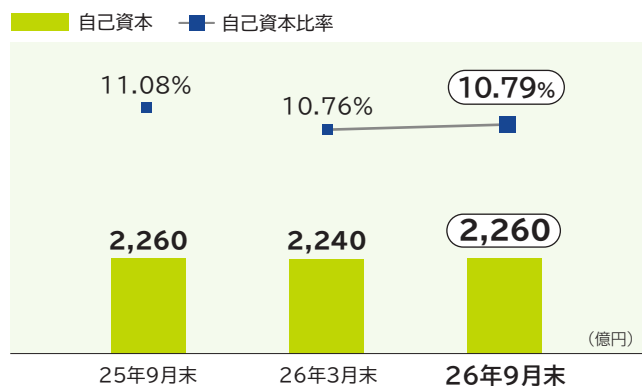
※2 26年9月期はバーゼルⅢ、25年9月期はバーゼルⅡベースで算出しています。

連結経常収益	419	+ 6	413
連結経常利益	91	△ 6	98
連結中間純利益	61	+ 6	54

## 自己資本比率

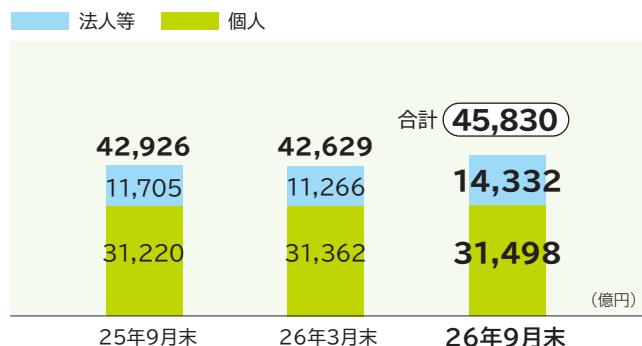
自己資本比率は、リスクアセットが増加したものの利益の積み上げにより、26年3月末比0.03ポイント上昇の10.79%となりました。

※26年3月末以降はバーゼルⅢベース、25年9月末はバーゼルⅡベースで算出しています。



## 預金 (含む譲渡性預金)

預金は個人、法人のお客さまともに増加し、26年3月末比3,201億円増加の4兆5,830億円となりました。



コア業務純益は、有価証券利息の増加による資金利益の増加と物件費の圧縮を中心とした経費の減少により前中間期比15億円増加の121億円となりました。

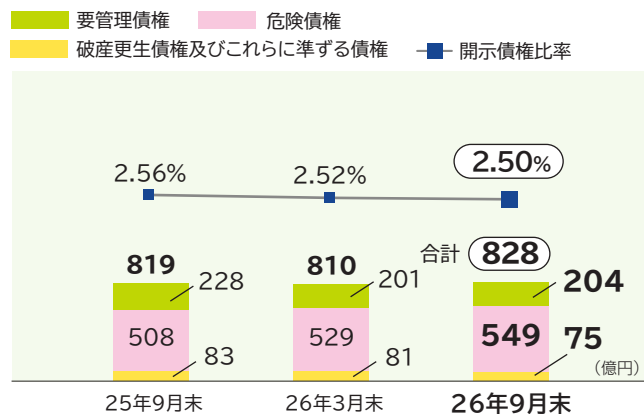
経常利益は、与信費用が増加したため前中間期比3億円の増加にとどまり98億円となりました。

中間純利益は、法人税等の減少により前中間期比16億円増加の70億円となりました。

連結経常収益は前中間期比6億円増加の419億円、連結経常利益は前中間期比6億円減少の91億円、連結中間純利益は前中間期比6億円増加の61億円となりました。

## 金融再生法開示債権

金融再生法開示債権は、26年3月末比17億円増加の828億円となりましたが、開示債権比率は、26年3月末比0.02ポイント低下の2.50%となりました。



## 貸出金

貸出金は、中小企業向け貸出や個人ローン、地方公共団体等向け貸出が増加し、26年3月末比787億円増加の3兆1,874億円となりました。

